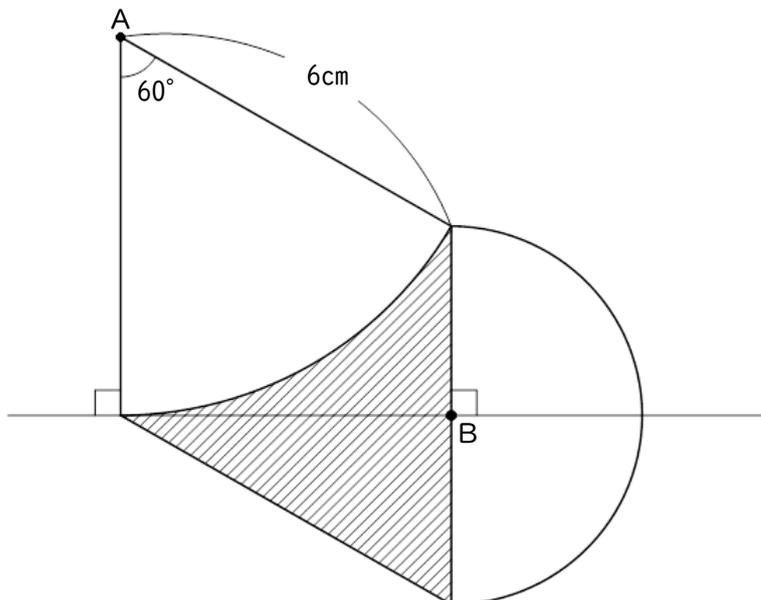


学年		クラス		氏名	
----	--	-----	--	----	--

図は点Aを中心とする半径が6cmの円の一部と、点Bを中心とする半円を組み合わせたものです。斜線部分の周の長さを求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。

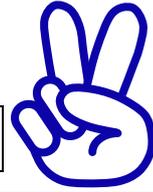


学年

クラス

氏名

解答・解説



Success+

【解答】

18.28cm

【解説】

右の図で、直線CDを引くと、三角形ACDは正三角形です。よって、 $CD = 6\text{cm}$ とわかります。

また、三角形BCDは、 30° 、 60° 、 90° をもつ直角三角形になるので、三角形DCEは1辺が6cmの正三角形とわかります。

よって、斜線部分のまわりの長さは

$$6 \times 2 \times 3.14 \times \frac{60}{360} + 6 \times 2$$

$$= 6.28 + 12$$

$$= 18.28 \text{ [cm]}$$

になります。

